



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社フーディソン 上場取引所 東
コード番号 7114 URL https://foodison.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 徹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼経営管理部長 (氏名) 内藤 直樹 TEL 050-1754-1990
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,474	-	37	-	37	-	30	-
2023年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）包括利益 2024年3月期第1四半期 30百万円（-%） 2023年3月期第1四半期 一百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	6.95	6.57
2023年3月期第1四半期	-	-

（注）当社は、2023年3月期第1四半期において四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,961	1,978	66.8
2023年3月期	3,017	1,943	64.4

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 1,978百万円 2023年3月期 1,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,992	26.7	45	△13.9	43	△26.2	69	103.1	15.79
通期	6,541	23.9	164	20.4	167	19.8	172	70.6	39.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	4,414,540株	2023年3月期	4,405,440株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	59株	2023年3月期	59株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	4,408,405株	2023年3月期1Q	ー株

(注) 当社は、2023年3月期第1四半期において四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期の期中平均株式数は記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、外出機会の増加、外食需要及びインバウンド消費の回復など、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー・原材料価格等の高騰や物価の上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループは、「世界の食をもっと楽しく」をミッションに、「生鮮流通に新しい循環を」をビジョンに掲げ、事業に取り組んだ結果、業績は堅調に推移いたしました。当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,474,524千円、営業利益37,335千円、経常利益37,307千円、親会社株主に帰属する四半期純利益30,621千円となりました。

主要なサービス別の概況は以下のとおりであります。なお、当社グループは生鮮流通プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておらず、サービス別に区分して記載しております。

① BtoBコマースサービス

当第1四半期連結累計期間における売上高は1,138,450千円となりました。

「魚ポチ」のアクティブ店舗は順調に増加し取引量も増加しており、出荷件数も増加傾向にあります。

② BtoCコマースサービス

当第1四半期連結累計期間における売上高は240,846千円となりました。

2023年4月に「sakana bacca グランスタ丸の内店」を新規オープンし、2023年6月末時点において「sakana bacca」店舗を9店舗運営しております。

③ HRサービス

当第1四半期連結累計期間における売上高は95,227千円となりました。

首都圏及び関西の都市におけるスーパー・小売店への人材紹介を中心に営業するとともに、飲食店向けの営業や新規エリア拡大の営業にも取り組んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,961,224千円（前連結会計年度末：3,017,414千円）となり、前連結会計年度末と比較して56,190千円の減少となりました。

流動資産は2,801,527千円（前連結会計年度末：2,857,692千円）となり、前連結会計年度末と比較して56,164千円の減少となりました。主な要因として、商品が7,212千円増加した一方、現金及び預金が43,848千円、売掛金が25,071千円減少したこと等によります。

固定資産は159,697千円（前連結会計年度末：159,722千円）となり、前連結会計年度末と比較して25千円の減少となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は982,258千円（前連結会計年度末：1,073,784千円）となり、前連結会計年度末と比較して91,526千円の減少となりました。

流動負債は482,760千円（前連結会計年度末：563,758千円）となり、前連結会計年度末と比較して80,998千円の減少となりました。主な要因として、買掛金が17,805千円及び未払法人税等が45,097千円減少したこと等によります。

固定負債は499,498千円（前連結会計年度末：510,026千円）となり、前連結会計年度末と比較して10,528千円の減少となりました。主な要因として、長期借入金が9,630千円減少したこと等によります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,978,965千円（前連結会計年度末：1,943,629千円）となり、前連結会計年度末と比較して35,336千円の増加となりました。要因として、親会社株主に帰属する四半期純利益30,621千円を計上したことにより利益剰余金が増加したこと、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,357千円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,235,418	2,191,569
売掛金	490,641	465,570
商品	96,778	103,990
貯蔵品	1,102	1,108
未収入金	10,159	11,143
その他	23,897	28,434
貸倒引当金	△305	△290
流動資産合計	2,857,692	2,801,527
固定資産		
有形固定資産	82,144	83,365
無形固定資産		
その他	1,938	1,769
無形固定資産合計	1,938	1,769
投資その他の資産		
繰延税金資産	14,506	10,792
その他	64,366	67,003
貸倒引当金	△3,233	△3,233
投資その他の資産合計	75,639	74,562
固定資産合計	159,722	159,697
資産合計	3,017,414	2,961,224
負債の部		
流動負債		
買掛金	254,662	236,857
1年内返済予定の長期借入金	38,520	38,520
リース債務	3,595	3,630
未払金	86,444	81,620
未払費用	64,863	61,284
未払法人税等	53,383	8,286
契約負債	17,166	14,069
返金負債	4,399	4,822
その他	40,722	33,669
流動負債合計	563,758	482,760
固定負債		
長期借入金	467,920	458,290
リース債務	13,671	12,750
繰延税金負債	667	658
資産除去債務	27,767	27,798
固定負債合計	510,026	499,498
負債合計	1,073,784	982,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,762	829,120
資本剰余金	1,613,861	1,616,219
利益剰余金	△496,845	△466,223
自己株式	△149	△149
株主資本合計	1,943,629	1,978,965
純資産合計	1,943,629	1,978,965
負債純資産合計	3,017,414	2,961,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,474,524
売上原価	954,701
売上総利益	519,822
販売費及び一般管理費	482,487
営業利益	37,335
営業外収益	
受取利息	0
受取保険金	424
講演料等収入	148
その他	105
営業外収益合計	677
営業外費用	
支払利息	637
その他	68
営業外費用合計	705
経常利益	37,307
特別損失	
固定資産除却損	93
特別損失合計	93
税金等調整前四半期純利益	37,213
法人税、住民税及び事業税	2,887
法人税等調整額	3,704
法人税等合計	6,591
四半期純利益	30,621
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,621

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	30,621
四半期包括利益	30,621
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	30,621

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、生鮮流通プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(重要な資産の譲受)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会決議により、大田区のフルフィルメントセンターへの入居にあたって、2022年10月26日付で、冷凍冷蔵庫設備や内装設備等の倉庫設備の一部を譲り受ける契約を締結しております。当該資産は、2023年8月1日の入居時に譲り受けており、固定資産計上するにあたっては、第三者機関により算定された動産評価レポートを参考にしております。この結果、第2四半期連結会計期間において、特別利益として固定資産受贈益41,122千円が発生する見込みであります。